

スケジュール

Jan.	11 tue		Dance Company Nomade ~s ワークショップ / ワークインプログレス
	17 mon		
	18 tue	6	コンテンポラリーダンス・ビデオ・ショーケース
	19 wed		
	20 thu	4	アマンド・ミラーによるテクニクダンス・ワークショップ
	21 fri		
	22 sat		
	23 sun	7	JaDaFo 日本ダンスフォーラムVol.5共催 シンポジウム「コンテンポラリーダンスはどこまではばたけるか？」
	24 mon		
	25 tue	2	山田うん / ジョン・ヨンドゥ / 森下真樹 / 康本器子 受賞者公演
Fed.	26 wed		
	27 thu		
	28 fri		
	29 sat	1	横浜ソロデュオ <Compétition>+ (ヨコハマソロデュオコンペティションプラス)
	30 sun		
	31 mon		
	1 tue		
	2 wed		1/17~1/30の期間中、横浜ダンスコレクションRのコンセプトを展示中
	3 thu		
	4 fri		
	5 sat		
	6 sun		
	7 mon	3	ロリーナ・バリエントスによる振付家のための構成力養成講座
	8 tue		
	9 wed		
	10 thu		
	11 fri		
12 sat			
13 sun			
14 mon			
15 tue			
16 wed			
17 thu			
18 fri			
19 sat	5	「ライン Line」 一日仏共同制作プロジェクト	
20 sun			
Mar.	24 thu		
	25 fri		Dance Company Nomade ~s 「GESICHT UND GESCHICHTE 顔と歴史 一ひとつの小さな夜」
	26 sat		
	27 sun		

横浜ソロ×デュオ <Compétition> + (ソロデュオコンペティションプラス)

総勢18組が出演!! 国内有数のコンペティションがリニューアル。
新生「ソロ・デュオ・プラス」でアジアの新進振付家が躍動します。

2000年からダンス創作の基本であるソロ・デュオに焦点をあて、新進振付家を発掘・支援・育成することを目的とし開催してきました。また、Rencontres Choregraphiques Internationales de Seine-Saint-Denis(旧パニョレ国際振付祭)の国内予選会であるヨコハマ・プラットフォームを1996年より行っています。今年から、その二つを合わせ、本格的にアジアのアーティストを視野に入れたコンペティションへ変更しました。

今回は、アジアの新進振付家から計98人が応募、見事本選出場を果たした16人の新進振付家が、群舞、ソロ×デュオ部門で、4日間にわたり作品を発表。下記の5名が厳正な審査の結果、栄冠を勝ち取りました。

開催期間中は、フランス、アメリカ、カナダ、フィンランド、スペイン、韓国のディレクターが来場、「アジアの新進振付家が競う場」という国際的認知が深まったことにより、今後のさらなる発展が期待できる、新たなスタートとなりました。

横浜ソロ×デュオ<Compétition>+ 受賞者決定!

【若手振付家のための在日フランス大使館賞】 *ソロ×デュオ部門から選出

岡本真理子 Mariko Okamoto (東京都出身) 「スプートニクギルー」

副賞: フランス・パリでの6ヶ月間の研修権利

留学中のパリ日本文化会館での公演の権利

【未来へはばたく横浜賞】 *群舞部門から選出

東野祥子 Yoko Higashino (奈良県出身) 「Zero hour」

副賞: 横浜赤レンガ倉庫1号館での単独公演の権利

次回以降の横浜ダンスコレクションRでの作品発表の権利

【ナショナル協議員賞】 *再部門から選出

濱谷由美子 Yumiko Hamatani (大阪府出身) 「スピン」

チェ・スジン Choi Soo-jin (韓国ソウル市出身) 「Mind Game」

三浦宏之 Hiroyuki Miura (千葉県出身) 「第三惑星怒れる男・たびお・愛の短編」

副賞: 次回以降の横浜ダンスコレクションRでの作品発表の権利



岡本真理子



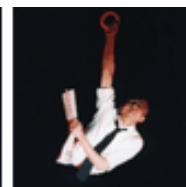
東野祥子



濱谷由美子



チェ・スジン



三浦宏之

*なお本年開催される「ランコントロール・コレグラフィック・アンテルナショナル・ドゥ・セーヌ・サン・ドニ」への
出場振付家については、後日、パニョレ国際振付作品センターより連絡がありますので決定次第お知らせいたします。

■群舞部門

2005年1月2日(木) 19:00開演(18:30開場) 出場振付家:大橋可也、浜口彩子

2005年1月28日(金) 19:00開演(18:30開場) 出場振付家:吾妻琳、ノ・ジョンシク、東野祥子

■ソロ×デュオ部門

2005年1月29日(土) 15:00開演(14:30開場)

出場振付家:岡本真理子、シン・ソル、セオキョウウコ、長谷川達也、濱谷由美子、三好絵美

2005年1月30日(日) 15:00開演(14:30開場) *表彰式あり

出場振付家:伊藤真喜子、昆野まり子、高瀬譜希子、チェ・スジン、三浦宏之

■会場

横浜赤レンガ倉庫1号館ホール

■料金

当日3,500円(前売3,000円) 4日通し券 8,000円(ドリンク付)全席自由

*パク・ソジョン、キム・ジョンウンは、本人の都合により出場を辞退しました。

■横浜ソロ×デュオ<Compétition>+

<審査員>

ローラン・バレエ(フランス・トゥール市現代ダンスフェスティバル<ル・コレグラフィック・ドゥ・トゥール>ディレクター)

三浦雅士(評論家、ダンスマガジン編集長)

伊東順二(美術評論家)

榎本了壹(クリエイティブ・ディレクター)

高谷静治(バニョレ国際振付作品センター・芸術評議員)

ブリジット・プルセル(フランス大使館 文化アタッシェ)

石川洵(バニョレ国際振付作品センター・芸術評議員)

■Rencontres Choregraphiques Internationales de Seine-Saint-Denis

<推薦委員>

アニタ・マチュー(バニョレ国際振付作品センター・ディレクター)

高谷静治(同・芸術評議員)

石川洵(同・芸術評議員)

<ナショナル協議員>

三浦雅士(評論家、ダンスマガジン編集長)

伊東順二(美術評論家)

榎本了壹(クリエイティブ・ディレクター)

このコンペティションは、各賞とともに、Rencontres Choregraphiques Internationales de Seine-Saint-Denis(旧バニョレ国際振付賞)の日本選考会を兼ねます。同フェスティバルは、例年5月~6月頃にフランス・パリ近郊のセーヌ・サン・ドニ県で開催されている国際的なダンス・フェスティバルで、現代舞踊振付家の支援と振付作品の普及を目的としており、世界規模の新進振付家の登竜門となっています。同コンクールは現在のコンテンポラリーダンスを生み出した原動力として、世界的に高く評価されており、過去の出場者も現在のダンス界の第一線で活躍しています。

振付家プロフィール



大橋可也

振付作品:「Sister Chainsaw」

山口県生れ。横浜国立大学卒業。職業システムエンジニア。ハードコアダンスを提唱し「ダンスとは何か」を問う活動をおこなう。2000年、「パニョレ国際振付賞ヨコハマプラットフォーム」に出品するが、以降、活動を休止。2003年、活動を再開。2004年、『あなたがここにいてほしい』を発表、同作品にて「ラボ20#16アワード」受賞、「トヨタコレオグラフィアワード2004ネクステージ」出場。



浜口 彩子

振付作品:「5/6,200,000,000物語」

神奈川県逗子市出身。上智大学文学部新聞学科卒。大学在学中よりダンスを始める。97年より木佐貫邦子に師事。2003年よりグループ作品の創作に取り組み始め、「5/6,200,000,000物語」を創作。木佐貫邦子+neoダンスの場所Vol.6(2003年12月 於シアタートラム)およびダンスビエンナーレTOKYO 2004ショーケース(2004年11月 於こどもの城フリーホール)にて発表。



吾妻琳/天游館

振付作品:「相性レッスン」(short version)

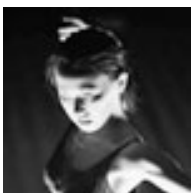
吾妻琳は、美術大学(洋画専攻)在学中、山本萌に舞踏を学ぶ。90年より自身の舞台活動を開始。93年多彩なキャリアを持つメンバーが参加する、天游館を設立。以後、吾妻琳演出、構成、振付のカンパニー公演とソロ活動を平行して行う。これまでに数十作の振付作品を創作、身体と日常の関係を詩的に表現する。現実と虚構を交差させ、独特のユーモアを加えた緻密で豊かな世界を描き出す舞台を特徴とする。吾妻琳/天游館サイト<http://www007.upp.so-net.ne.jp/tenyukan/>



ノ・ジョンシク

振付作品:「Wind」

96年世宗大学舞踊学科卒業、世宗大学大学院博士課程在学中。現在、世宗大学、江原大学講師。99年9月 第2回ソウル未来ダンスビエンナーレ「しおれた菊」振付(優秀振付賞受賞)。2002年8月 Modafe国際現代舞踊祭「Wind」振付。2003年2月 韓国振付家フェスティバル「青い海、そして鯨」振付(振付賞受賞)。2004年2月 新人芸術家支援選定作品「取り戻せない…」振付。



東野祥子(未来へはばたく横浜賞)

振付作品:「zero hour」

1972年生まれ。82年よりダンスを始める。舞台空間におけるダンスの可能性を模索しながら独自の世界観で新しい解釈を生み出し続けるダンスカンパニー[BABY-Q]のコレオグラファーとして活動を行う。2000年、[BABY-Q]を結成。伊丹AIHALL、神戸ファッション美術館ホール、教会、ギャラリー、野外など様々な空間で公演を行う。2004年、TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARDにて『次代を担う振付家賞』受賞。個人のソロダンス活動としては、煙巻ヨーコ名義で多ジャンルなアーティストとセッションを展開。



岡本真理子(若手振付家のための在日フランス大使館賞)

振付作品:「スプートニクギルー」

どちらかといえば風合い過敏な身体をもち、気づけばモノとの相性にもものぐるう日々。「まばたきぐり」、「ききみみ塔」につづき、冬の赤レンガに3作目をたずさえ。98年~01年、伊藤キム+輝く未来ダンサー。99年、STスポット・ラボ20#4・アワード受賞。ソロ・デュオ・コンペティション、横浜プラットホーム、日韓ダンスコンタクト等参加。04年、まばたきぐって、東京コンペ・ダンスバザール大賞受賞。



シン・ソル

振付作品:「逆へ」(Backward)

79年生まれ、98年ソウルテクウォン芸術高校卒業。現韓国国立総合芸術大学舞踊院創作科4年在学中。1997年現代舞踊協会賞受賞。2003年第7回KNUA実験舞踊祭「逆に」振付。2004年国際彫刻フェスティバル閉会式オープニング公演「コッシン(花靴)」振付



セオキョウコ

振付作品:「セカイニタッタヒトリノニンゲン」

bodyscape theatre 主宰・振付・演出。1999年、bodyscape theatreを結成。以後、公演・発表活動を行い、そのすべての作品の振付・演出を手掛けている。作品は、現代社会に生きる人々の生、身体等をテーマとし、「都市とそこに生きる人々」に照射したものが多く。2003年に「to zion」、2004年に「メトロポリタン・ララバイ」、「微笑みのモナ・リザ」を発表。その他の代表作として「隠蔽される世界」、「デウス・エクス・マキナ」、「discord」、「ダレカワタシハソソナニンゲンデハナイトイツテクダサイ」がある。



長谷川達也

振付作品:「バランス」

ストリートダンスを背景にコンテンポラリーに影響を受ける。あらゆる部類に属し、属さない身体。主な経歴としてSMAP,V6,Coming Century、藤木直人のツアーダンサー、コンサートの振付を担当。他にもフジテレビ「世にも奇妙な物語 春の特別編」出演や「MUSICFEAR 21」石井竜也 20th century の構成を手掛ける。JAPAN DANCE DELIGHT準優勝など、ストリートシーンと同時に多くの舞台活動にも参加、作品を発表している。



濱谷由美子 (ナショナル協議員賞)

振付作品:「スピン」

6歳でクラシックバレエに出会い、多方面でダンスを学ぶ。'95年「CRUSTACEA」結成。以降、構成・振付・演出を行う。近年はフランス・カナダ・韓国に招かれ公演を行う。特に代表作「Rassel」は地元新聞・TV・情報誌等で多数紹介され国際的な賞賛を受ける。ダンス以外にもTV・ライブ・イベントに出演する等その活動は幅広い。



三好絵美

振付作品:「Shinking float」

'99年アマンダミラーのワークショップにて選出されたメンバー6人によりダンスカンパニー yummydanceを結成。以後メンバーとして、振付家を固定しない自由なスタイルで松山を拠点に活動。'03年 ソロ作品「Shinking float」発表、"踊りに行くぜvol.4"参加。'04年 デュオ作品「白い恋人」、東京コンペ ダンスバザール部門 入選



伊藤真喜子

振付作品:「台風—run away in all directions—」

島根県出身。ダンサー・振付家。近作に「台風—run away in all directions」(2003)、「WW」(2004)、「台風—キョウジュウニドウニカシテクレナイカ!」(2004)。横浜STスポットダンスシリーズラボ#15においてラボアワード受賞。またインプロビゼーションダンスグループC.I.co. 主要メンバーとして国内外でワークショップ指導、パフォーマンス活動を行っている。



昆野まり子

振付作品:「into」

幼少より柴内啓子、94年より加藤みや子に師事。98年より片岡康子主宰DANCEHOUSEに参加。98年から創作活動を開始し「ほどかれたとき」「記憶するまなざし」「静寂の庭」等を発表。03年からはヒグマ春夫(映像作家)とのコラボレーションをはじめ、横浜赤レンガ、ギャラリー汲美、川崎市岡本太郎美術館等で発表。99年文化庁インターシップ研修員。Hot Head Works2002制作助手。



高瀬譜希子

振付作品:「5時の庭」

NYに生まれ、母(高瀬多佳子)のリハーサルと一緒に過ごし、10才よりレッスンを受ける。1999~2001年まで、積極的に舞踊コンクールに参加し、ジュニア部門で多数受賞する。2002年、文化庁在外研修員(18才未満の部)としてオランダ・ロッテルダム・ダンスアカデミーに留学。2003年、あきた全国舞踊コンクール・シニアの部・第一位。2004年、神戸コンクールシニアの部・第一位。東京新聞全国舞踊コンクール創作の部・入賞一位。埼玉全国舞踊コンクールの部・第一位。2005年、都民芸術フェスティバル現代舞踊公演に参加し、中村しんじ作品“ありす”で主役出演。



チェ・スジン(ナショナル協議員賞)

振付作品:「Mind Game」

71年ソウル生まれ。慶熙大学の舞踊学科、同大学院卒業。その後、渡米。01年 San Diego Dance Theater Workshop Scholarship Audition でPartial Scholarshipを取る。02年 Malashock Dance Company Summer Intensive Workshop Scholarship Audition で Full Scholarship を取る。主になる作品は <Now in Here>、<Red>、<Beyond the boundary solo>などがある。現在、公演作業団 シムシム代表。



三浦宏之(ナショナル協議員賞)

振付作品:「第三惑星怒れる男・たびお・愛の短編」

M-laboratory主宰。演劇、パントマイムを経て90年代前半アスベスト館にて舞踏を学ぶ。96年~02年までパパ・タラフマラに参加。メインパフォーマーとして国内外で活動。99年M-laboratory結成。以降10作品を振付、国内外で発表。00年よりソロ活動を開始。以降東京、香港、盛岡、岡山で計8作品を発表。04年JCDN踊りに行くぜ!参加。他、国内外を問わず多くの振付家作品に出演。



パク・ソジュン

出場辞退



キム・ジョンウン

出場辞退

平成16年度 文化庁新進芸術家公演事業

山田うん/ジョン・ヨンドウ/森下真樹/康本雅子 受賞者公演

歴代のコンペティション受賞者が集合！受賞後の活躍に注目！！



山田うん



ジョン・ヨンドウ



森下真樹



康本雅子

今までの横浜ダンスコレクションのコンペティションにて各賞を受賞した振付家が、再び横浜に集結します。山田うん、ジョン・ヨンドウはそれぞれ受賞後6ヶ月フランス研修を経験し、その成果が問われる公演となります。また、森下真樹、康本雅子は昨年のダンスコレクションでの受賞から1年間の集大成を発表します。横浜から巣立った振付家たちの競演にご期待ください。

■公演日程

2005年1月22日(土) 16:00開演(15:30開場)

出演：山田うん振付作品「ワン◆ピース」

(2000年ソロ×デュオ<Compétition> 若手振付家のための在日フランス大使館賞受賞振付家)

ジョン・ヨンドウ振付作品「相容れないひとつ-Incompatible yet one」

(2004年ソロ×デュオ<Compétition> 若手振付家のための在日フランス大使館賞受賞振付家、(財)横浜市芸術文化振興財団賞受賞振付家)

2005年1月23日(日) 16:00開演(15:30開場)

出演：康本雅子振付作品 [メクランラク](#)

(2004年ヨコハマプラットフォーム ナショナル協議員受賞振付家)

森下真樹振付作品「コシツネ赤レンガバージョン」

(2004年ソロ×デュオ<Compétition> (財)横浜市芸術文化振興財団賞受賞振付家)

■会場

横浜赤レンガ倉庫1号館ホール

■入場料

1日券 当日3,500円(前売3,000円)(ドリンク付き)

1公演券 (出演者指定、会場のみで取扱)前売2,000円(ドリンク付き)

受賞者公演プロフィール



山田うん

振付作品:「ワン◆ピース」

スポーツやダンスの経験を重ね、96年振付家として作品製作・発表を始め、ダンスを軸とした独自の創作活動を開始。2000年、横浜ダンスセレクション「ソロ×デュオ・コンペティション」にて<在日フランス大使館賞>受賞後渡仏。何気ない振る舞いを基にユーモラスで機知に富んだソロダンスには定評があり、ダンサー・振付家として国内外で公演活動、ワークショップ等を展開。代表作に「Lock」「Sky/Lark」「月想曲」「テンテコマイ」他。



ジョン・ヨンドウ

振付作品: 相容れないひとつ

韓国全南で生まれる。劇団「現場」で俳優として活動し、韓国国立総合芸術大学舞踊学部創作科にて振り付けを専攻する。2003年度「DOO DANCE THEATER」を設立し、芸術監督と常任振付家を兼任する。韓国国立総合芸術大学美術学部と安養芸術高等学校で動作を教えている。作品は主に人間の心理に関するもので、独特な動きは人間内面に隠れている情緒を説得力と共によく表し、毎作品ごとに多様な振り付け方法を見せる。ホン・シンジャ、ナム・ジョンホ、アン・エスン等韓国の様々な有名振付家と共に作品を作り、劇団現場、同時代、ユーシアター、演劇院、衛星神など多くの劇団で振付家と 트레이ナーとしても活動した。現在ダンサー、俳優として活動中であり、韓国の期待を集めている。



康本雅子

振付作品:「メクランラク」

"魚座、O型、寅年。今年はトリ、私は踊り。

趣味は散歩で特技は迷子、夢は見たこと。"



森下真樹

振付作品:「コシツー赤レンガバージョン」

75年生まれ。高校時代にダンスを始める。96年、Study of Live works 発条ト(ばねと)の結成よりダンサーとして活動。その他、伊藤キム+輝く未来、まことクラヴにダンサーとして参加。03年、初のソロ作品『デビュタント』(製作:発条ト)を制作し、東京、松山、福岡、仙台、横浜、山口、ソウルで発表。04年、横浜ダンスコレクション・ソロ×デュオ<Compétition>にて(財)横浜市芸術文化振興財団賞受賞。同年、新作『コシツ』を試作し、8月神楽坂die pratze、9月立教大学文学部、11月ダンスビエンナーレ東京2004ショーケースにて改作・発表。

ロリーナ・バリエントスによる振付家のための構成力養成講座

旧バニョレ国際振付賞の創始者であり、1999年までのディレクターを務めたロリーナ・バリエントス(旧姓ニクラス)が、作品上演・ディスカッション、写真や絵画の分析などを通して、振付の本質に迫るワークショップを行います。初日と最終日の作品上演を一般公開します。若手振付家の作品が4日間の体験を経てどう変化するか注目です。現在第一線で活躍中の多くの振付家がこの講座から巣立っていきました。広範な芸術に対して造形が深いロリーナ女史のコメントに耳を傾け、芸術を論理的な視点で捉えることの知的喜びを感じてみませんか。

■一般公開

2005年2月5日(土)、9日(水)2日間 両日とも13:00より開始
(講座は2月5日(土)~9日(水)の5日間、関係者のみ)

■講師

ロリーナ・バリエントス(前バニョレ国際振付作品センター・ディレクター)、竹内登志子(舞踊家)、藤原敏史(映像作家)

■会場

横浜赤レンガ倉庫1号館ホール

■見学料

1日500円、2日間750円

ロリーナ・バリエントスによる「振付家のための構成力養成講座」は、伊丹市文化振興財団と連携して実施します。関西地域での講座(2月16日~20日)については、アイホール(Tel: 072-782-2000)にお問い合わせください。



ロリーナ・バリエントス

アマダ・ミラーによるダンス・テクニク・ワークショップ

"A muscle is a mind. So is a bone. The democracy of the body is at the heart of what I'm doing now." (Amanda Miller)

「筋肉には心がある。骨もまた。私が今行っていることの核心には身体の民主性がある。」
(アマダ・ミラー)

プリティ・アグリイ主宰アマダ・ミラーが、身体の細部に対する意識を高め、ダンスとしての表現領域の幅と奥行きを増すための実技指導を行います。最終日には、アマダと生徒によるデモンストレーションで、成果を公開します。

■一般公開

一般公開:2005年1月21日(金)17:00~18:00 デモンストレーション(一般公開)
(講座は1月17日(月)~21日(金)5日間。関係者のみ)

■見学料金

無料

■会場

横浜にぎわい座 のげシャーレ



アマダ・ミラー (Amanda Miller)

アメリカ・ノースカロライナ州出身。1984年、ウィリアム・フォーサイス率いるフランクフルト・バレエ団にダンサーとして参加、その後同バレエ団常任振付家となる。92年、自身のカンパニー「プリティ・アグリイ」を設立、またネザーランド・ダンス・シアターIIやロンドン・コンテンポラリー・ダンスシアターなどに振付作品を提供する。94年バニョレ国際振付コンクールで、プロフェッショナル部門最高賞をはじめ、3賞を受賞。97年からドイツのフライブルク市立劇場を拠点にし、フリーランスの振付家として世界各地で活動を続けている。

「ライン Line」-日仏共同制作プロジェクト

村上龍原作「ライン」を、演劇+ダンス+音楽+映像で舞台化。
日仏のキャスト・スタッフ・劇場による共同制作プロジェクト!



世界へ羽ばたく振付家、ダンサーを発掘してきた、横浜ダンスコレクションの新たな展開として、「演劇+ダンス+音楽+映像」による舞台作品を、日仏のキャスト、スタッフ、劇場が共同で制作します。過去のコンペティション受賞者である、伊藤郁女、杏奈が、フランス人ダンサー、俳優、とともに出演。演出はフランス人演出家、ヴェロニク・ケイ、映像には「青年団」の俳優たちが登場し、現代人の心の闇を描いた村上龍の世界に挑みます。

■原作



村上龍「ライン」(1998年 幻冬舎刊)

■演出

ヴェロニク・ケイ

■出演

伊藤郁女

アンナ・モルトレイ

杏奈

エレナ・クトゥリディス

ヴォロディア・セール

ピエール・ミニヤール

■制作

ル・ラボラトワール・ヴィクトル・ヴェリテ

横浜赤レンガ倉庫1号館(財団法人横浜市芸術文化振興財団)

マン・ドゥーヴル劇場

アンギャン・レ・バン アートセンター

■公演日程

2005年2月18日(金) 19:30開演

2005年2月19日(土) 14:00開演/19:00開演(2回公演)

2005年2月20日(日) 14:00開演 *いずれも開場は30分前

■会場

横浜赤レンガ倉庫1号館ホール

入場料: 当日4,500円(前売り4,000円)、学生席2,000円

* 学生席は当日受付にて学生証提示

プロフィール



ヴェロニク・ケイ Véronique Caye

(演出家・劇作家)

1998年に様々な分野のアーティストを集めた集団、ル・ラボラトワール・ヴィクトル・ヴェリテを結成。現代文学の舞台化がテーマであり、『ショット(Shot)』(パトリック・ブーヴェ作)、『病(Maladie)』(タンギー・フィール作)など、多くの作品を演出してきた。近年は村上龍の小説をもとにした『ライン』の上演に取り組み、ヴィジュアルとサウンドを用いて現代文学を視覚化する試みを行っている。『ライン』プロジェクト実現のため、2003年にはフランス外務省フランス芸術文化活動協会(AFFA2003)「Villa Medicis hors les murs」の助成を得て、3か月にわたって日本に滞在。また2004年にはボーマルシェ財団の助成を獲得した。



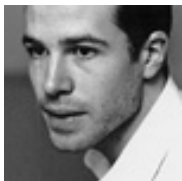
伊藤 郁女
Kaori Ito



アンナ・モルトレイ
Anna Mortley



杏奈
anna



ヴォロディア・セール
Volodia Serre



エレナ・クトウリディス
Elena Koutoulidis



ピエール・ミニャール
Pierre Mignard

「コンテンポラリーダンス・ビデオ・ショーケース」

横浜ダンスコレクションに出場した振付家をビデオ・ショーケースで紹介。
5分間ずつ各振付家の作品を終日ビデオ上映します。
横浜やダンス・コレクションに訪れた際に、是非お立ち寄りください。

■期間

2005年1月17日(月)～30日(日)

■参加振付家

新舗美佳(ほうほう堂)
杏奈(zeroc)
池宮中夫・熊谷乃理子(Dance Company Nomade～s)
伊藤郁女、伊藤千枝(珍しいキノコ舞踊団)
岩淵多喜子(Dance Theatre LUDENS)
岡本真理子
鍵田真由美・佐藤浩希(「FLAMENCO 曾根崎心中」プロジェクト)
金谷暢雄(op.eklekt)
神蔵香芳
北村明子(レニ・バツソ)
木野彩子
木村由(ダンスパフォーマンス蟲)
黒沢美香
小浜正寛(ボクデス)
佐成哲夫
JOU(Odorujou)
ジョン・ヨンドウ
高野美和子(time and locus)
濱谷由美子(CRUSTACEA)
藤田祐美(DANCE PLACE)
松島誠
森下真樹
ヤザキタケシ(ヤマザキタケシ&アローダンスコミュニケーション)
康本雅子
ニブロール矢内原美邦
山田うん(Co.山田うん)
山崎広太

■会場

横浜赤レンガ倉庫1号館 1階スペース

■料金

無料

JaDaFo 日本ダンスフォーラムVol.005

日本ダンスフォーラム事務局共催 シンポジウム

■日程

2005年1月22日(土)、23日(日) 各日とも13:00開演(12:30開場)

■会場

横浜赤レンガ倉庫1号館

■料金

入場無料(要事前予約。先着順。定員になり次第×切り)

■申し込み先・お問合せ先

横浜赤レンガ倉庫1号館 045-211-1515

■2005年1月22日(土)13:00開演(12:30開場)

「コンテンポラリーダンスはどこまではばたけるか？」
～各国の現状から、今後のコンテンポラリーダンスがめざす方向を考える～
パネリスト: 各国から来日したダンスプロデューサー、ディレクター、
石川 洵(財団法人横浜市芸術文化振興財団エグゼクティブ・ディレクター、
横浜赤レンガ倉庫1号館館長)
進行: 石井達朗(舞踊評論家)

■2005年1月23日(日)13:00開演(12:30開場)

「コンテンポラリーダンスの可能性」～JaDaFoメンバーによるシンポジウム
パネリスト: 楫屋一之(世田谷パブリックシアター・プロデューサー)
高谷静治(財団法人児童育成協会(青山劇場/青山円形劇場)・劇場事業本部))
三浦雅士(評論家、ダンスマガジン編集長)

横浜ダンスコレクションR2005参加事業

ダンスカンパニーノマド
Dance Company Nomade ~ s

「GESICHT UND GESCHICHTE 顔と歴史 -ひとつの小さな夜-」



■日時

3月24日(木)19:30開演

3月25日(金)19:30開演

3月26日(土)19:30開演

3月27日(日)15:00開演 *いずれも開場は30分前

■テキスト・美術・演出

池宮中夫

■振付

池宮中夫、熊谷乃理子

■出演

Nomade~sダンサー、ワークショップ参加者

■会場

横浜赤レンガ倉庫1号館

■入場料

指定席券:4,000円

自由席券:前売2,500円 当日3,000円

学生券:1,500円(前売りのみ)

横浜ダンスコレクションRパスポート・チケットとのセット割引券(会場のみでの取扱い。前売のみ)

指定席券 4,000円 → 3,800円

自由席券 2,500円 → 2,300円

学生券 1,500円 → 1,300円

■主催・お問合せ

ノマドオフィス TEL:03-3828-4858 FAX:03-3828-4856 E-mail:nomade-s@t3.rim.or.jp

横浜赤レンガ倉庫1号館(財団法人横浜芸術文化振興財団)

*1月11日(火)、1月12日(水)ワークショップ/1月13日(木)ワークイン・プログレスvol.6を開催。

ワークショップの参加申し込み等詳しくは、上記へお問合せ下さい。